

# ICT分野の研究開発 人材育成

2006年12月13日

株式会社 KDDI研究所

篠永 英之

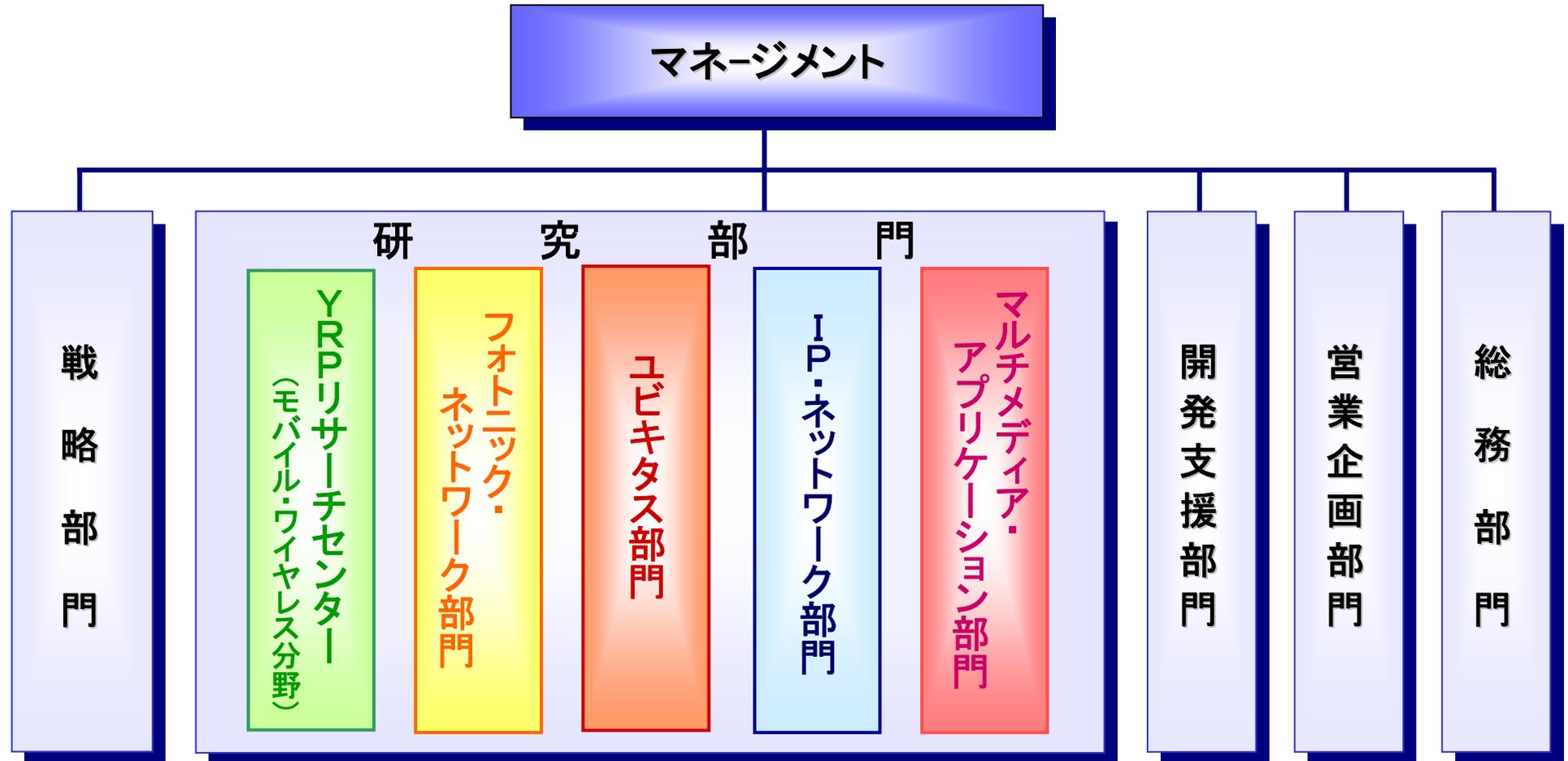
# (株)KDDI研究所の概要

- 設立 : 平成10年4月1日  
(株式会社KDD研究所としてKDDから分社)  
(平成13年4月、KDD研究所と京セラDDI未来通信研究所が合併。  
社名をKDDI研究所に変更。)
- 資本金 : 22.8億円
- 株主構成 : KDDI, 京セラ, トヨタ自動車
- 代表取締役所長 : 秋葉 重幸
- 社員数 : 214名 (平成18年10月現在)
- 所在地 : 埼玉県ふじみ野市  
YRPIリサーチセンター

# KDDI研究所の事業内容

- 研究開発の受託
- 技術調査および技術支援の受託
- 情報通信システムに関する教育、訓練、コンサルティング
- 特許権及び著作権など知的所有権の権利化
- 研究成果物の外販・開示、技術移転

# 組織図



# 戦略重視マネージメント

## ■ 戦略部門の強化

- PDCAサイクルを強力に推進する組織構築と人材配置
- 客観性の高い厳正な研究プロジェクト評価

## ■ 部門横断戦略プロジェクト

- 責任、権限を明確化したトップダウンプロジェクトの実施（人材育成も視野に）

## ■ 開発支援体制

- コア技術のソフトウェア内製化を目的とした研究開発支援グループの強化
- 研究支援技術者の導入

## ■ 外部人材、外部機関の積極的活用

- ポスドク、招聘研究員の積極的導入

# 産官学連携と外部人材・技術の積極的活用

## ■ メリハリの利いた産官学連携（選択と集中）

□ 連携分野： 新世代移動通信、次世代高速ネットワーク技術、セキュリティー、ロボット、遠隔医療等

□ 連携目的：

- 自社のみで開発するには負担の大きな技術の共同開発、市場流通
- 得意分野の異なる研究機関との連携によるシナジー効果
- 自社のみでは標準化の出来ない技術の開発、標準化、ライセンス化

## ■ ベンダー、ベンチャー企業などの技術、人材の積極的活用

□ 研究開発時間の短縮、効率化、リスク分散、負担の軽減

# 標準化活動

- KDDIの事業戦略にかかわる標準化支援
  - 円滑な事業運営への寄与
    - 周波数、番号確保、総合接続性の確保
    - 標準化動向把握、事業運営への得失評価
  - 事業展開に必要な技術の標準化
    - KDDI提供サービスで利用する技術の標準化
    - 調達コストの低減、法外なロイヤリティ支払いの回避
- 研究開発成果の権利化と外部利用の促進
  - IPR戦略との連携ならびにライセンス収入確保
- 標準化活動のための**人材育成**ならびに適正な標準化活動評価
  - **交渉スキルなど標準化のために必要な人材育成**
  - 最適な標準化団体と参加時期の選定
  - 標準化活動成果の適正な評価

# 若手研究者の人材育成について

- 基本施策
- 若手研究者を中心とする研究施策
- 国際的研究者育成のための英語教育
- 若手研究者とのコミュニケーション強化
- 人材育成に資する研究プロジェクト

# 基本施策

専門性、国際性、人格性に優れた中堅社員を育成

専門性	国際学術会議、標準化会議、技術分析評価活動、特別研究員制度、招聘研究員制度
国際性	海外派遣(国際学術会議、標準化会議、技術分析評価、長期出張、留学)、所内語学訓練
人格性	コミュニケーション(所内ワークショップ、合宿、懇親会、クラブ活動)

# 若手研究者を中心とする研究施策

## - 新規研究テーマの開拓 - (1/2)

### ■ 自由なプロジェクト提案

- 若手研究者(個人またはチーム)からの自由なプロジェクト提案を受け付け、具体案を検討させる

### ■ 技術分析評価活動

- 米国、欧州の研究機関、大学などを対象として、若手研究者を抜擢して調査、評価活動を実施

### ■ 米国大学、研究機関との共同研究に伴う長期出張

- 留学とは別に、プロジェクトベースで柔軟に運用できる研究体制を用意し、若手研究者に研鑽の機会を与える

# 若手研究者を中心とする研究施策

## - 新規研究テーマの開拓 - (2/2)

### ■ 特別研究員制度

- 新たな研究領域を開拓するため、特別研究員として若手を抜擢しプロジェクトリーダーとして新規領域の研究に当たらせる

### ■ 招聘研究員制度

- 海外の大学などから大学教授を招聘研究員として招聘し、若手研究員と共にICTフロンティア領域の開拓研究を実施

# 国際的研究者育成のための英語教育

- 技術分析評価活動、長期海外出張
  - 現地での技術分析調査や研究活動を通じICT分野での能力開発を図ると共に、国際性、交渉力を向上させる
- 海外研究者招聘
  - 海外研究者(KDDI研究所採用)との研究活動
  - IAESTE制度などを利用した大学院学生の招聘
  - 海外大学からの研究者招聘
- TOEIC
  - 一定レベルに到達するまで年2回受験を義務化

# 若手研究者とのコミュニケーション強化

- 若手研究者の人材育成は、制度を整えるだけでは不十分で、ボトムアップ的に意見を吸い上げる柔軟な仕組みとの併用が有効
- 部門間ワークショップ
  - 若手研究者の視野は担当する研究分野に閉じた狭いものになり勝ち
  - 所内ワークショップで、専門外の聴衆を相手に発表、議論する機会を設ける
- 所内懇親会、合宿などによる交流促進

# 人材育成に資する研究プロジェクト

- 複数の研究部門に跨る研究プロジェクトの推進
  - 複数の研究部門の研究者が連携して取り組む研究プロジェクトに若手、中堅研究者を投入。シナジー効果を得る研究開発を推進すると共に、人材育成を図る。
- KDDI事業部門との連携
  - KDDI事業部門との連携、議論の場を通じて、現場の課題を研究プロジェクトに吸い上げる。また、若手研究者自らが現場へ研究成果の展開をする施策を推進し、有効な研究開発サイクルを維持。